

平成元年度 関西支所研究課題一覧表

関西地域研究推進目標による研究課題

研究問題	研 究 課 題	研究期間	担 当 研究室	課題責任者
XV. 風致 林及び都市近 郊林の育成管 理技術の高度 化 (有光一登)	<p>1. 都市近郊林の造成・管理技術の向上</p> <p>(1) 都市林の地力増進技術の改善</p> <p>① 根圏土壌の改良</p> <p>a 根圏土壌の改良</p> <p>(2) 都市の環境下における病虫害発生機 構の解明とその防除法の確立</p> <p>① 病害発生情報の収集と発生動向の 解析</p> <p>a 病害発生情報の収集と発生動向 の解析</p> <p>③ 突発性害虫の生態</p> <p>a 突発性害虫の生態</p> <p>⑤ 吉野ほか有名サクラ植栽地にお ける退廃の病因解明と防除</p> <p>a 吉野ほか有名サクラ植栽地にお ける退廃の病因解明と防除</p> <p>(3) 都市近郊林の林相管理技術の向上</p> <p>① アカマツ・落葉広葉樹林の取扱い と林相推移</p> <p>a アカマツ・落葉広葉樹林の取扱 いと林相推移</p> <p>③ 林内環境下における更新樹の成長 過程の解明</p> <p>a ヒノキ天然更新稚樹の成立過程 の解明</p> <p>b 樹下植栽木の生長過程の解明</p> <p>⑤ 大阪営林局管内における複層林の 収穫予測法の開発</p> <p>a 大阪営林局管内における複層林 の収穫予測法の開発</p>	<p>60～2</p> <p>60～5</p> <p>60～5</p> <p>51～2</p> <p>63～2</p> <p>60～2</p> <p>63～2</p> <p>61～2</p>	<p>土 壤</p> <p>樹 病</p> <p>昆 虫</p> <p>樹 病</p> <p>造 林</p> <p>造 林</p> <p>造 林</p> <p>経 営</p>	<p>前田 满 吉岡二郎</p> <p>鳥居厚志 伊藤進一郎</p> <p>伊藤進一郎</p> <p>細田隆治</p> <p>山田利博</p> <p>陶山正憲</p> <p>加茂皓一</p> <p>加茂皓一</p> <p>清野嘉之</p> <p>家原敏郎</p>

森林総合研究所関西支所年報第31号 平成元年度

研究問題	研究課題	研究期間	担当研究室	課題責任者
	⑥ 関西地方における樹木衰退の実態 とその立地要因 a 関西地方における樹木衰退の実 態とその立地要因 (4) 竹林管理技術の確立 ① 竹林の生産力と土壤条件の解明 a 竹材生産のための土壤条件の解 明 ② 竹林の取扱いと再生産の関係解明 a 竹林の取扱いと再生産の関係解 明 ④ 竹林・竹材害虫の生態とその防除 法の確立 a 竹林・竹材害虫の生態とその防 除法の確立	62~3	造林	清野嘉之 陶山正憲
	60~2	土壤		西田豊昭
	63~2	造林		井鷺裕司
	63~6	昆蟲		田畠勝洋
2. 都市近郊林の防災的管理技術の向上				陶山正憲 服部重昭
(1) 森林の土保全機能の解明と治山工法 の改善				
① 根系と Ao 層被覆による土砂生産 の軽減効果	63~2	防災		服部重昭
a 根系と Ao 層被覆による土砂生 産の軽減効果				
④ 山火事跡地の植生回復	63~2	造林		井鷺裕司
a 山火事跡地の植生回復				
⑤ 樹種別の耐火性	61~2	防災		小林忠一 服部重昭
a 樹種別の耐火性				
(2) 温暖少雨地帯における森林の水保全 機能の評価手法の開発				
① 水保全機能の評価モデルの開発	元~5	防災		服部重昭
a 水保全機能の評価モデルの開発	元	防災		小林忠一
b 樹幹流の発生動態と物質移動に 関する基礎的研究				

平成元年度関西支所研究課題一覧表

研究問題	研究課題	研究期間	担当研究室	課題責任者
	③ 林内の地面蒸発量推定モデルの開発 a 林内の地面蒸発量推定モデルの開発 ⑤ 暖温少雨地帯における林況変化が流出に及ぼす影響 a 暖温少雨地帯における林況変化が流出に及ぼす影響 ⑥ 寡雨乾燥地域における土壤構造と水移動及び保水メカニズムの解明 a 寡雨乾燥地域における土壤構造と水移動及び保水メカニズムの解明 b 寡雨乾燥地域の森林における水循環過程の解明	元～5 60～9 63～3 63～3	防災 防災 土壌 防災	玉井幸治 服部重昭 鳥居厚志 服部重昭
	3. 風致林の機能解明と管理技術の向上			陶山正憲 天野正博
	(1) 風致林の機能評価と育成・管理技術の向上			天野正博
	① 風致機能の計量的評価法 a 風致機能の計量的評価法 b 年輪情報による森林へのストレスの評価 c 天然林における生物集団情報の処理技術の開発 d 孤立化した広葉樹林の遷移過程における動物相の生態的地位 e 各種データベースの統合化と利用手法の開発 ③ 針広混交林誘導試験 a 針広混交林誘導試験	元～5 63～元 元～5 元～4 62～元 63～2	風致林 風致林 風致林 昆虫 風致林 造林	野田巖 天野正博 天野正博 田畠勝洋 天野正博 井鷺裕司

森林総合研究所関西支所年報第31号 平成元年度

研究問題	研究課題	研究期間	担当研究室	課題責任者
XVI. 関西地域における森林造成技術と経営管理方式の確立 (有光一登)	<p>1. 畿陽アカマツ林帯における森林造成技術の確立</p> <p>(1) 立地特性の解明と林地利用区分</p> <p>① 林地土壤の母材特性の把握</p> <p>a 林地土壤の母材特性の把握</p> <p>② 林地土壤の化学特性の解明</p> <p>a 林地土壤の化学特性の解明</p> <p>③ 林地土壤の水分環境の解明</p> <p>a ヒノキ造林木の成長を抑制する土壤条件の解析</p> <p>(2) 地力維持増進技術の向上</p> <p>① 林地肥培技術の改善</p> <p>a 林地肥培技術の改善</p> <p>(3) 立地条件別育成管理技術の向上</p> <p>① 落葉広葉樹林の樹種別生育特性の解明</p> <p>a 落葉広葉樹林の樹種別生育特性の解明</p> <p>② 低位生産林地における針葉樹生産機構の解明</p> <p>a 低位生産林地における針葉樹生産機構の解明</p> <p>(4) 病虫獣害の防除法の確立</p> <p>① ヒノキ主要病害の発生生態の解明と被害防止の技術開発</p> <p>a ヒノキ樹脂胴枯病の発生生態の解明</p> <p>② 主要病害の発病機構と抵抗性機構の解明</p> <p>a 主要病害の発病機構と抵抗性機構の解明</p> <p>b 宿主—病原体の相互作用における樹木の異常代謝産物の役割</p>	<p>元～5</p> <p>元～5</p> <p>元～3</p> <p>元～5</p> <p>元～2</p> <p>元～5</p> <p>田畑勝洋</p> <p>60～5</p> <p>元～5</p> <p>元</p>	<p>土壤</p> <p>土壤</p> <p>土壤</p> <p>土壤</p> <p>造林</p> <p>造林</p> <p>造林</p> <p>樹病</p> <p>樹病</p> <p>樹病</p>	<p>陶山正憲</p> <p>吉岡二郎</p> <p>鳥居厚志</p> <p>西田豊昭</p> <p>吉岡二郎</p> <p>吉岡二郎</p> <p>西田豊昭</p> <p>陶山正憲</p> <p>加茂皓一</p> <p>清野嘉之</p> <p>田畑勝洋</p> <p>山田利博</p> <p>黒田慶子</p> <p>伊藤進一郎</p>

平成元年度関西支所研究課題一覧表

研究問題	研究課題	研究期間	担当研究室	課題責任者
	③ 主要害虫の被害防止技術の開発 a 主要害虫の被害防止技術の開発 b 虫害情報の収集と解析 ④ ノウサギの被害防止技術の開発 a ノウサギの被害防止技術の開発 ⑤ 野ネズミの被害防止技術の開発 a 野ネズミの被害防止技術の開発 ⑥ ニホンジカの個体群変動機構と個体群管理技術 a ニホンジカの個体群変動機構と個体群管理技術 ⑦ 松くい虫個体群動態とマツ枯損の疫学的解明 a 激害跡地のマツ二次林における松くい虫個体群動態 b マツノマダラカミキリ寄生性糸状菌の新利用法の開発 c マツノマダラカミキリ個体群動態とマツ枯損の疫学的解明 (5) 施業技術の体系化と経営的評価 ① 林分成長の解析と収穫予測 a 林分成長の解析と収穫予測 ② 育林投資の採算性評価手法の開発 a 育林投資の採算性評価手法の開発	元～6 元～ 元～6 元～6 元～6 元～8 63～元 63～ 元～3	昆虫 昆虫 昆虫 昆虫 昆虫 昆虫 昆虫 樹病 昆虫 昆虫	田畠勝洋 伊藤賢介 山田文雄 北原英治 小泉透 田畠勝洋 田畠勝洋 田畠勝洋 黒川泰亨 家原敏郎 黒川泰亨 前田満 陶山正憲 加茂皓一
	2. 良質材生産技術の高度化と経営管理方式の確立			
	(1) 林業技術の地域特性の解明 ③ 保育方法の違いと量的質的成長との関係解明 a 保育方法の違いと量的質的成長との関係解明	元～5	造林	加茂皓一

森林総合研究所関西支所年報第31号 平成元年度

研究問題	研究課題	研究期間	担当研究室	課題責任者
	④ 直径分布の推移と林分成長の関係解析 a 直径分布の推移と林分成長の関係解析 ⑤ 近畿・中国地域のスギ・ヒノキ長伐期林分の実態解析と収穫予測 a 近畿・中国地域のスギ・ヒノキ長伐期林分の実態解析と収穫予測 ⑦ 人工造林地に更新した有用広葉樹の育成技術 a 人工造林地に更新した有用広葉樹の育成技術 b ミズメ個体群の更新機構と集団の成立条件 (2) 材質劣化防止技術の確立 ① 材質劣化に関する病害の発生機構の解明 a 材質劣化に関する病害の発生機構の解明 ③ スギカミキリのなど穿孔性害虫の個体群密度と被害発生条件 a スギカミキリの大量飼育法の確立と被害発生条件の解明 b スギカミキリの被害発生予察法と防除の確立 c 個体群変動要因の解明 ⑤ 材質劣化に関する獣害の究明 a 材質劣化に関する獣害の究明 b 獣害発生情報の収集と解析 (3) 経営管理方式の確立 ② 林業経営管理手法の開発 a 林業経営管理手法の開発	60~3 63~元 63~2 元~4  元~5  63~元 63~元 元~3 63~5 元~ 60~3	経営 経営 造林 造林 樹病 昆蟲 昆蟲 昆蟲 昆蟲 昆蟲 経営	家原敏郎 家原敏郎 清野嘉之 清野嘉之 伊藤進一郎 伊藤進一郎 細田隆治 伊藤賢介 伊藤賢介 山田文雄 北原英治 黒川泰亨 黒川泰亨

平成元年度関西支所研究課題一覧表

研究問題	研究課題	研究期間	担当研究室	課題責任者
	③ 地域林業組織化方式の確立 a 地域林業組織化方式の確立 b 経済環境の変化に対応した木材 價格の変動予測モデル	60～3 62～2	経営 風致林	黒川泰亨 天野正博

註 研究課題は、上記課題一覧表のほか、全国規模の調査研究において担当地域を分担する広領域研究課題の下記課題を分担している。なお、これら課題の成果は本所担当研究室において集約される。

「低山帯の未熟土壤の特性解明」(I-1-(1)-①) 土壌研究室担当

「寡雨乾燥地域の森林における水循環過程の解明」(III-1-(1)-②) 防災研究室担当

「松くい虫被害の発生予察」(VII-3-(1)-①) 昆虫研究室担当